

# 冬休み中のインターネット利用で 気を付けるポイント

冬休み中は、子どもたちがインターネットに触れる時間が増えるほか、インターネットに接続できるゲーム機やタブレットなどを買い与えてもらう子どもも多くなります。インターネット上のトラブルに巻き込まれないために、校種ごとにどのようなポイントに気を付ければよいかをまとめてみました。



## 気を付けたいポイント

### 《小学生》インターネットの特性を理解させる

インターネット機器を扱う前段階として「知らない人が書き込みを見ているかもしれない」「送ったものを取り消すことはできない」「ウソや間違った情報もたくさんある」などのインターネットの特性を理解させることが大切です。

参考：[インターネット上の情報、その性質と、上手な付き合い方（2016年10月更新）](https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/k1016.pdf)

<https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/k1016.pdf>



### 《中学生》インターネットの利用を再確認

SNSなど、使い始めると楽しくてつい使い過ぎてしまうため、他のことが疎かになってしまったり、一度始めてしまうと止めるきっかけが掴めず、本人の負担になってしまうケースもあります。インターネットの利用について、子どもたちに考えさせることが大切です。

参考：[SNS疲れする子どもたち（2017年3月更新）](https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/k1703.pdf)

<https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/k1703.pdf>



### 《高校生》SNSの安全な利用を徹底させる

昨今、SNS上での誘い出しによるトラブルが大きな問題になっています。悪意のある大人は「優しい素敵な人」を装って、言葉巧みに近づいてきます。面識のない大人の言葉を信用しないこと、絶対に直接会わないことを徹底させることが大切です。

参考：[「コミュニティサイト」も危険？使い方次第で大きなトラブルに（2015年12月更新）](https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/k1215.pdf)

<https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/k1215.pdf>



## 指導の要点

学校では、冬休みに入る前に、子どもの発達段階やインターネット利用の実態に応じて指導することが重要です。単に「使うな」という指導ではなく、どんなトラブルがあるのか、大人は何を心配しているのかを伝え、子どもたち自身がどのような使い方・関わり方をすればよいのかを考える筋道を立ててあげることが大切です。「気を付けたいポイント」を参考に、冬休み前の学校便りや学年通信、学級通信等に掲載するなどして、子どもたちにインターネットの利用について考えさせましょう。